http://www.ipg.co.jp/press

G-PRESS

VOL.3
2002.9.11

G News

9月1日、松下電器よりGガイド搭載 BS・110度CSデジタル放送対応新機種発売

9月1日に松下電器より、Gガイド搭載のBS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ「デジタルT<タウ>」シリーズ3機種（TH−36D30（36型）、TH−32D30（32型）、TH−28D30（28型））が発売されました。新CRTと高画質化回路による高精細な映像を再現し、新しいスタイリッシュなデザインを採用。ブラウン管テレビとして業界で初めて、BS・110度CSデジタル放送だけでなく地上放送にも対応するテレビ番組ガイド（EPG）を採用。簡単録画などの機能は継承しつつ、さらに、より購入しやすい価格帯を実現しています。
この機種は、デジタル放送時代にふさわしい画質・機能を備えたデジタルハイビジョンテレビの中核製品と位置づけられ、月産20,000台を予定し、「ビューティー・タウ」の愛称で積極的に市場提案していくモデルとなります。

TH−36D30

<松下電器リリース抜粋>デジタルハイビジョン市場は、2002年冬季オリンピックやワールドカップサッカーを契機に急速に拡大しており、今年度第一四半期の業界総需要は前年同期比約3倍と高い伸び率を示しています。また、現行のBSデジタル放送・110度CSデジタル放送に続き、地上デジタル放送の開始が予定されるなど、デジタル放送サービスのより一層の拡充が予測され、さらにデジタルハイビジョンテレビも、より本格的な普及期へと移行することが期待できます。こうした中、よりお求めやすい価格を実現した本製品を開発しました。本製品群を、最重点モデルとしてデジタルハイビジョンテレビの普及拡大に貢献してまいります。

■ 商品についてのURL　http://www.panasonic.co.jp

SONYより<コクーン>チャンネルサーバー『CSV-E77』発表

9月4日にSONYからGガイド搭載の新モデルが発表されました。11月1日発売予定、価格は13万円前後になる見込みです。

<ソニーリリース抜粋>ソニーマーケティング株式会社は、2つの地上波チューナーを搭載し、160GBハードディスクへの録画機能（最大100時間録画可能）とブロードバンドネットワークへの常時接続機能などにより、好みの番組を次々と録りためながら「自分の生活パターンに合わせて、見たい番組を見たいときに見る」という新しいテレビの視聴スタイルを提案するチャンネルサーバー『CSV-E77』を発売します。本機は、家庭内での新しいAVの視聴スタイルを提案するゲートウェイ機器群<コクーン>の特長となる「パーソナライズ」「ユビキタス」「アップグレード」に対応した「成長する商品」です。

■ 商品についてのURL　http://www.sony.jp/products/Consumer/cocoon/

■ 8月末段階でのGガイド対応受信機

ソニー
ハードディスク内蔵録画機
「チャンネルサーバー」（CSV−S55）

松下電器産業
「デジタル　タウ」AVHDD内蔵BSデジタルハイビジョンテレビ（TH−36DH200）
「プラズマ　タウ」BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ（TH−42PX10）
BS・110度CSデジタルプラズマテレビ（TH−37PD10）
「T<タウ>」プログレッシブワイドテレビ（TH−36FP50、TH−32FP50、TH−28FP50）

G Interview

ビデオリサーチ インタビュー

7月中旬に行ったGガイド利用調査の実施機関、ビデオリサーチの担当者に聞いてみました。

株式会社 ビデオリサーチ
デジタル戦略室
デジタルメディア部副主事
石松 俊之 さん

■Gガイドをご覧になっての感想は?

CSやBSデジタル放送のEPGと比べると、情報量が多く、Windowが多いEPGだと思います。従来のEPGでは、局や番組によって情報量や情報内容にばらつきがありますが、Gガイドでは東京ニュース通信社で編集していることもあり、番組情報が詳細も含めて整っていることが優れていると思います。Windowが多いというのは、番組表やジャンル検索だけでなく、パネル広告やテキスト広告、トピックスなど様々な情報を提供できるスペースがあるためですが、そのことで伝達できる情報量が豊富になる反面、使いこなせないユーザーもいるのではないかということはネガティブな要素として指摘できるかもしれません。

■今回の調査目的とサマリーをお願いします。

この調査の前に、CSやBSデジタル放送でのEPG利用状況について、グループインタビュー調査を行いましたが、Gガイドは「地上波のEPG」であることが最大の特徴なので、今回は、実際にGガイドを使っているユーザーの利用状況を把握するという目的がありました。調査結果のサマリーとしては、Gガイドの利用シーンとしては、夜の比較的遅い時間帯が中心であったということが言えると思います。CSやBSデジタルの場合ですと、多チャンネル環境下で、今・この後どんな番組があるのか?ということがEPGの利用動機になりますが、今回の調査では、ハードディスクレコーダーを備えたGガイド搭載機のユーザーが調査対象であったためだと思いますが、利用目的で「録画」にウェイトがあったような気がします。その意味では、Gガイド搭載機のデバイスの性格がEPGの利用の仕方に影響を与えると考えられるので、その辺も考慮しながら「EPG」の利用のされ方についてデータを蓄積していくことが重要だと思います。

■視聴率調査や、一般的な調査との違いなどについて教えて下さい。

調査をするスタンス(メディアの利用状況を探る)としては、特に一般的な調査と変わりません。ただ、EPGはメディアそのものと捉えることもできますし、テレビ視聴に付随するツールと捉えることもできますので、その辺の立ち位置によって調査の設計、指標の考え方を修正・変更していくことが必要なのだろうと思います。

■今後の調査について

当面は、様々なメーカー、デバイスで、実際にGガイドがユーザーにどのように利用され、評価されているかということのデータを蓄積することが課題だと思います。今後、Gガイド利用のログが取れる仕組みも予定されていますので、より詳細な利用実態の把握ができるようになるでしょうね。そのような仕組みを通じて、EPGそのものの利用状況の他に、デジタル録画機器におけるタイムシフト視聴や録画・再生行動なども調査・研究対象になると思いますので、そのような点は私どもも勉強させて頂きたいと考えています。多チャンネル化が進行するほど、EPGの役割は重要になると思います。その中では、ユーザーの利用実態と評価によってEPGが様々な機能向上を実現していく面もあるでしょうが、逆にEPGの"在り方"によってテレビの視聴スタイルが影響を受け、変化していくことも考えられます。そのようなことにも留意しながら、よりよいEPGサービスの実現のお役に立てるような調査の企画設計をご提供させて頂けるよう努めたいと考えています。

G Tips

ちょっとした機能紹介

ジャンル検索

Gガイドでは、番組をジャンル別に検索することができます。もちろん検索された画面から、視聴予約か録画予約が可能です。
また、そのジャンル検索結果画面を指定して広告を掲出するという制御が可能です。例えば、スポーツ検索の結果画面にだけ掲出する広告、映画検索の結果画面にだけ掲出する広告という設定が可能です。

■現在、検索が可能なジャンル

スポーツ　映画※　音楽　ドラマ　バラエティ

※「映画」ジャンルについては、受信機により「地上波映画」「BS映画」と分かれている場合があります。

現在開発中のGガイドでは、「スポーツ」などの検索に加え、「野球」「サッカー」などのサブジャンル検索が可能となります。

今後発売を予定している"地上波・BS・CSシームレスGガイド"では、放送波には関係なくシームレスに「スポーツ」などの番組検索結果を一覧で表示することが可能となります。

松下電器産業「TH-D30」

Inside G

Gガイド利用調査報告がまとまりました

2002年7月中旬にGガイド対応受信機を所有しているユーザーに対し、Gガイドの利用調査を行いました。今後も、定期的に調査を実施していきます。また、調査の方向性としては、基本的には一度調査をさせていただいたユーザにも再度ご協力いただき、調査対象のユーザ数を増やすとともに、Gガイドを利用しつづけることでどのような変化があるかを調査する予定です。

(詳細な調査報告は、担当よりご報告させて頂きます。担当までご連絡下さい。)

Gガイド広告下期セールス開始

2002年度下期の広告セールスを開始しました。今回のセールスメニューは、Gガイド利用調査を元に設計し、4つのパック(パックA・B・C、パックジャンル)を設定しています。受信機台数は当初の予測通り順調に出荷され、対応機種は現在5機種となっています。

(広告セールスの詳細については、各担当までお問い合わせください。)

発行:(株)インタラクティブ・プログラム・ガイド　TEL: 03-3544-2814　e-mail: press@ipg.co.jp

G-GUIDE STANDARD